

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
81

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔令和7年12月20日発行〕

WINTER 2025

令和七年度秋季定例会（雇用改善推進会議）

令和七年十月一日（水）リーガロイヤルホテル大阪

A. 定例会報告

- 一. 開会の辞
- 二. 会長挨拶
- 三. 国土交通大臣表彰受賞者のご紹介
- (1) 各事業委員会報告

副会長 新妻 尚祐
会長 岩田 正吾

- 経営委員会
- 技術委員会
- 教育訓練委員会

副会長 宮村 博良
副会長 新妻 尚祐
常務理事 國井 均
常任理事 岑 直樹

- 外国人受入事業委員会

副会長 小寺洋志裕

- 労務委員会

常任理事 樋脇 毅

- CCUS企業評価事業委員会

常任理事 清水 敬央

- 青年部

山村 誠樹

- (2) 就労人口調査報告

- 就労人口調査WG

グループリーダー

佐々木善弘

- (3) 各地区における受注単価・労務状況等報告

事務局 事 務 局

- (4) 全鉄筋団体保険・団体定期保険報告

- 第一生命保険株式会社 広域法人営業部副部長

澤田恵美子 様

- (5) 全鉄筋団体保険・業務災害総合保険報告

- AIIG損害保険株式会社 CCA東京支店支店長

尾崎 満留 様

B. 講演

『経済安全保障の現状と動向』

東京大学特任教授（工学博士）

一般財団法人日本建築センター顧問

内閣総理大臣補佐官 和泉 洋人 様



岩田会長



全国鉄筋工事業協会 青年部部会長会議

2025年10月1日にリーガロイヤルホテル大阪で、全国鉄筋工事業協会青年部部会長会議が行われ、全国から40名の青年部部会長が出席されました。

今回は下記の4つの議題について議論しました。

- ①請負単価
- ②稼働率
- ③出向単価
- ④休日の稼働率

①各地区での請負単価

・将来のビジョン

制度改正と適正単価の推進

- ・標準見積書の活用により、透明性の高い取引を実現し、取引の健全化を図る。
- ・労務費や稼働率を反映した適正単価の算出を進め、現場に合った適正な評価を確立。
- ・適正な取引環境を整備することで、技能者が安心して働ける体制を整える。
- ・業界全体の健全な発展と社会的信頼の向上を実現する。

月給制と働き方改革

- ・一次業者にとどまらず、二次業者まで含めた月給制移行。
- ・技能者の生活基盤を安定化し、離職を防ぐとともに、若手人材の定着を図る。
- ・日給制からの脱却により、長期的なキャリア形成を見据えた持続可能な働き方の定着。
- ・働き方そのものを起点に業界を変革する。

多様な人材が安心して働ける環境整備

- ・若手・外国人を含む多様な人材の活躍の支援。
- ・年齢や国籍を問わず能力を発揮できる職場環境を整え、誰もが安心して働ける仕組みを整備。
- ・多様性を尊重し、新たな発想や技術を積極的に導入することで、より柔軟で強靱な業界を目指す。
- ・建設業界の持続的成長と競争力強化を図る。

各地区での単価差が浮き彫りになり興味深いデータでした。今後は標準見積書の活用や、月給制の移行、多様な人材が活躍できる職場環境の提供を推進し、それらが実現できる請負単価になるよう、取り組んでいきます。

③出向単価

改善提案

・単価の根拠提示と標準化

国交省の「公共工事設計労務単価」や都道府県別単価表を活用し、交渉時に根拠を明示

・出向職人の技能評価制度【CCUS】の活用

経験年数・資格・施工実績に応じた単価設定を行い、納得感を高める

・標準見積書活用化

法定福利費・安全管理費を出向単価に含めるよう徹底
休日（土曜日・日曜日・祝日）の法定休日労働の割増賃金・安全管理費や熱中症対策費なども別途計上し、現場の実情を反映

各地域で大きな差がありますが、設計労務単価やCCUS、標準見積書の活用により単価と対価が適正になるように努めていきます。

②各地区の稼働率

まとめ

技能者が減少傾向にある中、需要変動に対応するために

同地域組合員同士で【取組】表・【山積み表】

積極的に活用・情報共有を行う。

この情報共有は他地域とのやり取りをするよりも重要になるはず。

広域間で連携が重要

MSI(マッチング支援サービス)

などのツールも活用でき、日本全国・広域で

やり取りができていくのではないのでしょうか？

そして画像のように稼働率を水平線のように出来るよう

皆で作上げていきましょう。

MSI

Matching system for improvement
(改良、改善、向上)

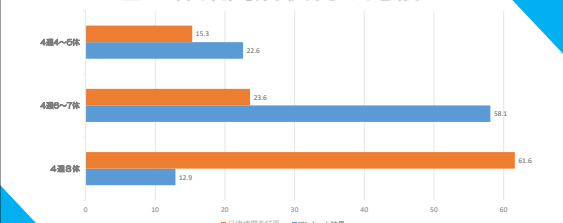
技術研鑽のための

マッチング支援システム

それぞれの地域で稼働率に差がありましたが、減少傾向にある技能者と需要変動による供給課題の対策として、同地域組合員同士で山積み表の活用・共有や全鉄筋が推奨しているMSIの活用を目指していきます。

④休日の稼働率

2・作業閉所状況の比較



※4週8日休では日建連調査結果と青年部アンケート結果の48.7%の開きがあった。
※青年部アンケートでは4週6日休が58.1%と、最も多い数値となった。
※4週4日休では青年部アンケート結果の数値が高くなり現状では、4週6日休、4週4日休が8割程度となった。

地域によって差があります。4週8日休が実現しきれない要因は、人手不足、工期不足、給与が減る、人件費が増える、取引先の都合で決まる、の4点でした。

公益社団法人全国鉄筋工事業協会 創立60周年記念祝賀会



中野国交相



岩田会長

全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、岩田正吾会長）は1日、大阪市北区のリーガロイヤルホテル大阪で創立60周年記念祝賀会を開いた。全国から会員や関係団体の関係者、国会議員ら約530人が出席。節目の到来を祝うとともに、鉄筋工事業界の発展に向け思いを一つにした。

鉄筋業界発展へ思い一つに

冒頭、岩田会長は福利厚生費の別枠支給や社会保険加入推進などを踏まえ「これまで動かなかった山が動き、建設業が質の競争に変わろうとしている」と述べた。活動の柱に技能者教育、外国人労働者との共生、技術革新対応を列挙。「未来を見据え、団結して課題に挑む。常に精進を怠らぬ。親方であることを意識し、次世代に誇れる業界を築きたい」と決意表明した。

来賓の中野洋昌国土交通相は「鉄筋工事は構造物の骨格を担う最も重要な業種だ。適正な賃金確保のため労務費の基準を新設し、官民一体で処遇改善に取り組む」と述べた。鰐淵洋子厚生労働副大臣は「若者や女性の就業促進を通じて、



総勢21人で鏡開き

建設業を選ばれる産業としていく」と話した。公明党の斉藤鉄夫代表（前国交相）は「鉄筋との出会いが私の社会人の原点で、今も現場で提案した品質管理手法が使われている。これからも皆さんと共に頑張りたい」と語った。

自民党の見城茂範参院議員は「少子化時代にどう担い手を確保するかが最大の課題。とにかく、もつかる鉄筋工事業」を実現しなければならぬ」と強調。伊藤孝江参院議員（公明党）と中山泰秀前衆議院議員も祝辞を述べた。石破茂首相らが祝電を寄せた。建設業振興基金（振興基金）の谷崎暁理事長が乾杯の音頭を取り、歓談に移った。国土交通大臣表彰を受けた各組合幹部5人への祝いと還暦祝いも行われた。

日刊建設工業新聞2025年10月3日

- 日時 令和7年10月1日（水）17：30～19：30
- 場所 リーガロイヤルホテル大阪 3階『光琳』

- 開会挨拶 公益社団法人全国鉄筋工事業協会 会長 岩田 正吾
- ご来賓祝辞 国土交通大臣 中野 洋昌 様
厚生労働副大臣 鰐淵 洋子 様
公明党代表 前国土交通大臣 全鉄筋顧問 斉藤 鉄夫 様
衆議院前議員 全鉄筋顧問 中山 泰秀 様
参議院議員 見坂 茂範 様
参議院議員 杉 久武 様
参議院議員 伊藤 孝江 様
- 鏡開き
- 乾杯 一般財団法人建設業振興基金 理事長 谷脇 暁 様

ご歓談

- 来賓紹介
 - 祝電披露
 - 国土交通大臣表彰のお祝い 【敬称略】
- | 氏名/全鉄筋役職 | 所属団体/企業名称 | 団体役職 |
|------------|--------------|------|
| 山本 信二/常任理事 | 愛媛県鉄筋業協同組合 | 理事長 |
| 清水 敬央/常任理事 | 愛知鉄筋業協同組合 | 理事長 |
| 古澤 英樹/理事 | 福岡県鉄筋事業協同組合 | 副理事長 |
| 森山 直樹 | 関西鉄筋工業協同組合 | 副理事長 |
| 農口 隆光 | 熊本県鉄筋工事業協同組合 | 副理事長 |
- 還暦のお祝い
 - スペシャルパフォーマンス：全鉄筋イメージソング披露
(シンガーソングライター・空さやか オリジナル制作/歌唱)
 - 閉会挨拶 公益社団法人全国鉄筋工事業協会 副会長 宮村 博良
(60周年実行委員長)



組合紹介

神奈川県鉄筋業協同組合

神奈川県鉄筋業協同組合は、1963年の設立以来、鉄筋工事の技能技術の向上と経営改善等を使命として活動してきました。私たちが拠点とする神奈川県は、東京の南に位置し、海・山・都市が調和した魅力あふれる地域です。横浜では、みなとみらいの近代的な街並みと赤レンガ倉庫や中華街の歴史が共存し、建設インフラ案件も多く、鉄筋業にとって挑戦の場が広がっています。鎌倉や小田原の古い町並み、箱根の自然と温泉、湘南・江の島の海辺の風景など、伝統と新しさが共存する土地柄は、ものづくりへの誇りと責任を育む風土でもあります。

近年、組合では鉄筋工の裾野を広げるための社会貢献活動に力を入れています。コロナ前には2万人超の来場者を誇る「かながわしごと・技能体験フェスタ」に出店し、大規模鉄筋モニュメントの制作や結束体験、ライブによる加工体験、鉄筋重量当てなどを提供。2025年には青年会議所主催の「横浜開港祭」「サマコンフェス」でも同様の体験を実施し、多くの子どもたちに鉄筋の魅力を伝えました。また、毎年工業高校の生徒や教員に対し、数日間わたる鉄筋技能士試験の組立指導を行っており、次世代技能者の種まきを行っています。

加えて、元請団体である神奈川県建設業協会との意見交換会も毎年開催しており、そこでは、担い手不足、働き方改革、標準労務費の必要性など業界課題を共有。今年初めて行われた神奈川県型枠工事業協同組合との合同定例会、昨年より開催された合同ゴルフコンペでは、躯体工事を担う2業種の理解促進と交流強化を図っています。組合内では総会・賀詞交歓会に加え、年3回の定例会を開催し、全鉄筋や関東鉄筋連の最新情報を共有しながら、他県理事長との意見交換を通じて組織の活性化を進めています。これからも東京に続く人口を支える鉄筋工事業団体として、新しいものにチャレンジを続けながら神奈川の未来をつくってまいります。

令和7年度
秋の褒章受章者

褒章 黄綬褒章

中川 六雄 様

(公社) 全国鉄筋工事業協会
関西鉄筋工業協同組合
株式会社中鉄

常任理事
筆頭副理事長
代表取締役

神田 幸夫 様

(公社) 全国鉄筋工事業協会
新潟県鉄筋業協同組合
神田鉄筋工業株式会社

理 事
理 事
代表取締役

宮田 洋志 様

熊本県鉄筋工事業協同組合
宮田鉄筋工業株式会社

理 事
代表取締役



令和7年度 顕彰

国土交通省は10月28日、東京都文京区の文京シビックホールで建設マスター（優秀施工者国土交通大臣顕彰）と建設ジュニアマスター（青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰）の2025年度顕彰式典を開き、計571人を優秀な技能者として表彰し、その栄誉をたたえた。

建設マスターは、現場経験20年以上で優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成にも貢献した技能者452人が選ばれました。

建設ジュニアマスターは、現場経験10年以上の39歳以下の技能者を対象とし、今後さらなる活躍が期待される青年技能者を顕彰することで、次世代の担い手の確保・育成に役立てることを目的に創設され、119人を建設ジュニアマスターとして顕彰した。

全鉄筋が推薦した建設マスター受賞者は11名、ジュニアマスター受賞者は9名の皆様には、国土交通省大臣顕彰式前に全鉄筋祝賀会を開催し、国井常務理事（教育訓練委員長）よりその功績を称えるご祝辞とお祝い金を贈呈致しました。

顕彰者の皆様、誠におめでとうございます。

全鉄筋2025年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」建設マスター顕彰者 11名

- | | | | | | |
|--------------|---------|-------------------|------------|---------|--------------|
| 東京都鉄筋業協同組合 | 佐々木智久 様 | (新妻鋼業株式会社) | 関西鉄筋工業協同組合 | 市坪 逸郎 様 | (株式会社中鉄) |
| 神奈川県鉄筋業協同組合 | 佐藤 正彦 様 | (株式会社イー・ケー・エス) | 岡山県鉄筋協同組合 | 竹光 勇人 様 | (有限会社竹光建設工業) |
| 新潟県鉄筋業協同組合 | 渡辺 博一 様 | (神田鉄筋工業株式会社) | 岡山県鉄筋協同組合 | 藤田 美幸 様 | (有限会社出井興業) |
| 富山県鉄筋工事業協同組合 | 吉井 享志 様 | (旭鉄筋株式会社) | 香川県鉄筋業協同組合 | 西森 昭仁 様 | (武田建設株式会社) |
| 石川県鉄筋業協同組合 | 増谷 義勝 様 | (株式会社コデラ) | 鹿児島県鉄筋業組合 | 中西 英司 様 | (株式会社小原鉄筋工業) |
| 愛知鉄筋業協同組合 | 澁江 裕司 様 | (マツダスーパースタール株式会社) | | | |




全鉄筋2025年度「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」ジュニアマスター顕彰者 9名


- | | | |
|--------------|---------|----------------|
| 宮城県鉄筋工事業協同組合 | 近 淳平 様 | (株式会社タケヤマ) |
| 福島県鉄筋業協同組合 | 皆川 悠志 様 | (有限会社根本錦鉄筋工業所) |
| 栃木県鉄筋工事業協会 | 野原 功平 様 | (株式会社佐山) |
| 長野県鉄筋業協会 | 伊東 美樹 様 | (有限会社横山鉄筋工業) |
| 関西鉄筋工業協同組合 | 奥 勝利 様 | (田村工業株式会社) |
| 岡山県鉄筋協同組合 | 岸田 彩花 様 | (有限会社出井興業) |
| 徳島県鉄筋工事業協同組合 | 佐川 和也 様 | (有限会社工藤建設興業) |
| 愛媛県鉄筋業協同組合 | 石谷 将太 様 | (有限会社山口鉄筋) |
| 長崎県鉄筋工事業協同組合 | 林田 恭介 様 | (有限会社林田鉄筋工業) |



建設マスター全鉄筋外推薦



相樂 高志 様
(株式会社郡協鉄筋工業)



森田 弘志 様
(株式会社小黑組)

各地区広報活動報告

関西鉄筋工業協同組合 「こども万博 KIDS EXPO 2025」 に出展

関西鉄筋工業協同組合は、2025年10月10日・11日の2日間、大阪・関西万博会場で開催された「未来のトビラをひらく こども万博 KIDS EXPO 2025」に出展し、鉄筋工事の役割や技術を次世代の子どもたちへ紹介する活動を行った。

ブースでは、鉄筋工事の基本作業を体験できる結束体験・加工体験を実施。実際に使われている工具や材料に触れながら、ものづくりの流れや技術の大切さを分かりやすく学べる内容とした。また、ヘルメットや作業服、フルハーネスを着用できる「職人なりきり体験（フォトスポット）」を設け、子どもたちが鉄筋工の仕事を身近に感じられる工夫も盛り込んだ。

さらに、イベント開始前には、組合加盟企業の職人が会場入口に「こども万博夢の絵トンネル」を鉄筋で組み立てた。来場者が通る導線に設置されたこの展示は、鉄筋構造物の迫力や施工の様子を体感できるものとして注目を集め、多くの親子から好評を得た。



国土交通省 女性活躍・定着促進に向けた実行推進事業報告



2025年9月30日、東京都野村コンファレンスプラザ日本橋にて国土交通省・建設産業女性定着支援ネットワーク主催、「働きやすく働きたいのある建設産業の実現に向けた全国会議」が開催され、全鉄筋女性活躍推進WGの活動報告を行いました。

立ち上げから現在までの活動報告として、「つながろう女性鉄筋工の和」と題し、1年に1度開催している事などを報告。その中で、最初は毎回のように出ていたトイレ環境の問題が今年の2月に開催された会では地域差はあるが、だいぶ整備されてきていると感じることや、結婚後の仕事と家庭の両立の仕方などの問題共有や意見交換をされている事などを報告しました。

会議では、女性に限らず多様な人たちが働きやすい環境づくりの具体例として、オリビオ（高松市）、小川工業（埼玉県）、日本建設業連合会けんせつ小町委員会定着支援専門部会の3社が発表されました。就労継続支援A型事業所の指定を受ける「オリビオ」では、建設業と福祉の連携における「建福連携事業」を発表され、天井つりボルト製作など現場作業の一部を障害がある方が受け持ち、現場の生産性向上に寄与されていました。

いがいと手がかる作業を外部発注し、福祉と連携することで両者の利益が生み出され、雇用が拡大し、それがボランティアではなく企業として成り立つようになるという発想の転換には、発表後もどのようなか、今後の展開などたくさんの質問がされていました。

また、建設産業女性定着支援ネットワークの構成団体として、全国定住層労働安全協議会が現場の実態と活動報告をされました。同じ建設業でもじゅうたく小町部会では個人宅を建てている事もあり、コストや設置場所の確保などがうまくいわずトイレ環境の改善は見られない事、1人で複数物件を管理し、現場を巡回することが多いので、すべての物件に女性1人の為だけにトイレ数を増やす事へのデメリットが目立つ事や、助成金があり出ない事もあり環境整備が進まない事などの問題点を挙げていました。

会議に参加して感じた事は、どの企業や団体も「連携したい」と考えている事です。1社1団体で行う事への難しさがあり、労働環境の整備がどの業種でも当たり前になるように言い続ける事への必要性を感じました。鉄筋業界の地位向上と労働環境の改善だけでなく、建設業に携わるすべての業種の人々がきちんとした対価や評価をされる事が女性活躍だけでなく、この業界全体の底上げになるのではないかと思います。

増金由紀子、斎藤絵里

全国女性技能者懇談会 開催について

懇談会：つながろう女性鉄筋工の和
日時：令和8年2月6日(金) 15:00～
集合：エッサム神田ホール2号館 [2-601] 会議室
住所：〒101-0047 東京都千代田区神田3-24-5

編集後記

夏の猛暑がようやく落ち着き朝晩に初冬の気配を感じる頃となりました。

早いもので今年も残りわずかとなり、昭和から100年・戦後80年という区切りの年が終わろうとしています。その中で今年の大きな話題としてはやはり「日本初の女性首相誕生」という大きなニュースでした。

長年、政界の第一線で活躍してきた高市早苗さんの首相就任は我が国の政治史に新たな一頁を刻む出来事であり、国民の期待も高まっています。

就任早々の外交や国会答弁にも注目が集まる一方で、女性ならではのファッションや愛用の文房具まで話題となり、社会全体に新しい風をもたらしているように感じます。

女性リーダーの誕生は、単に政治の世界における歴史的变化にとどまらず、「多様な価値観を受け入れる社会」への象徴的な一歩でもあります。

長く続いた「男性中心の常識」が少しずつ変わり、能力と努力が正当に評価される時代へと確実に移りつつあります。

働く女性にとっても、家庭や職場の枠を超え、自分らしく生きる勇気を与えてくれる出来事ではないでしょうか。また、女性がリーダーとして活躍する姿は、若い世代に夢や目標を描かせる力を持っています。

女性リーダーの誕生をきっかけに多様な視点や考え方がより尊重される時代へと進んでいくことを期待したいと思います。

いっぽう、深刻な少子化の問題も避けるわけにはいきません。女性の社会進出の期待が大きくある中で社会全体が子育てを支援する環境も同時に整えていく必要があります。

家庭と職場の両立・育児への協力・子育てへの参画：女が、嫁が家庭を守り子育ては当たり前の時代は今はもう古い。欧米人のように子供は社会の宝・子供にはみんなが優しく地域で協力して一緒に育てるような環境こそが少子化を打開する一歩。

誰かが一歩道を切り拓くことで、次の誰かが一歩を踏み出せる。

建設業界もまた変化の波の中にあります。人材確保や働き方改革、AI・DXによる新技術の導入など課題は多いものの、一つひとつの現場を支える皆様の努力と情熱がこの業界の力強さそのものです。

今後も現場の声を丁寧に伝え、女性活躍推進WGの活動を通して、業界の未来を形づくる女性リーダーの一人として大きな一歩を踏み出していただければと強く感じています。

駒井真里

編集委員	
委員長	岑 直樹（宮城）
副委員長	宮本ゆり子（山口）
木浪 裕子（北海道）	矢竹 直司（東鉄協）
大港 成人（鉄工協）	工藤 桂一（神奈川）
松本 勝（静岡）	田浦 真一（関西）
赤澤 栄徳（香川）	汐田 洋（福岡）
女性活躍推進（兼任除く）	
皆川 則子（北海道）	斎藤 淑江（東鉄協）
駒井 真里（神奈川）	